

元気な グループ紹介



神代子ども神楽

(三和地区時安)



神代子ども神楽を皆さんご存知でしょうか？

平成14年に発足し、現在5年目を迎えました。神代子ども神楽は古来から伝わる広島県無形文化財八ヶ社神楽を伝承するため、週1回、時安文化センターで2時間半くらいの練習を行っています。当初は地元の子どもたち数人で活動していましたが、その演舞の美しさ、子どもたちの頑張り、かわいらしさに感動し、神楽を通して成長していく姿に共感してくださった方たちが、今では福山や府中からも練習にいられています。

神代子ども神楽では、地域、年齢、性別を問わず神楽の好きな子ども達だれでも参加できます。現在では3歳から中学生まで約20名が厳しい稽古をつんで、病院や施設の慰問、地域のお祭り、毎年一度来見ふれあいプラザで行う子ども神楽共演大会など多方面で活躍するまでに成りました。芸の世界、楽しい事は

かりではなく、厳しい練習やつらい事もあります。がたくさんの方に観ていただき、たくさんの拍手を頂いた時が一番の喜びです。

これからも、地域の皆様のご協力を頂きながら、年齢を越え互いに助け合いながら仲良く活動していきたいと思っております。指導者や保護者も子ども達の神楽を通して成長していく姿を励みに支援していきますので、私た

編集後記

冬に後戻りしたような寒さの中での、3月定例会は、3度目の春を迎えた神石高原町のまちづくりに、真剣な議論が交わされ、熱き議会となりました。

本年度を財政改革元年と位置づけて、決意も新たに出発です。

「冬は必ず春となる」ことを信じて、心を合わせ、一人と自然が輝く、元気

ちの活動に温かいご声援を宜しくお願い致します。



の出るまちづくり」に進みたいと思います。

議会広報も、予算・決算議会以外、12ページに予算を削減されました。そのような中で、わかりやすく読みやすい「みんなの町議会」となるよう、さらに内容の充実に向けてまいりますので、よろしくお願ひします。

（余震の続く能登半島、震災のお見舞い申し上げます、一日も早く復興することを祈ります。）

(寄)